

## 設立から現在まで

- 1997.10.7 「協力し連携することによって広島の高高等教育機関全体がレベルアップし、魅力あるものとなる」ことをめざして、広島修道大学学長、広島工業大学学長が協議会の結成を呼びかける。
- 10.31 協議会設置準備会を開催。
- 12.15 広島修道大学学長、広島工業大学学長、広島経済大学学長、安田女子大学学長が協議会の設立発起人となる。
- 1998.4.1 広島県高等教育機関等連絡協議会発足。  
広島県教育委員会、財団法人広島県教育事業団の協力を得て、30の大学・短期大学が参加。
- 1999.4.1 単位互換及び生涯学習事業を始める。
- 2002.4.1 広島県高等教育機関協議会と改称。高大連携事業を始める。
- 2003.4.1 大学院単位互換事業を始める。海上保安大学校加盟。
- 2004.4.1 呉工業高等専門学校、ノートルダム清心女子大学加盟。  
10.1 島根県立大学加盟。  
11.27 全国大学コンソーシアム協議会設立、呼びかけ団体となる。
- 2005.4.1 教育ネットワーク中国と改称。  
岩国短期大学、広島県私立中学・高等学校協会加盟。  
10.1 LEC東京リーガルマインド大学加盟。
- 2006.4.1 広島市教育委員会、呉市教育委員会加盟。
- 2007.4.1 高大連携科目等履修生制度の開始。  
6.21 紀伊國屋書店、中国新聞社、広島インターネットビジネスサイエティ(HiBiS)、広島銀行、広島信用金庫が賛助会員として加盟。  
教育ネットワーク中国設立10周年  
9.15 全国大学コンソーシアム協議会研究交流フォーラム開催。
- 2008.2.28 大学生協中国・四国事業連合、モルテン、広島電鉄が賛助会員として加盟。  
3.21 中国新聞社との包括的連携協力協定を締結。  
6.26 凸版印刷(西中国事業部)が賛助会員として加盟。  
8.20 文部科学省「戦略的の大学連携支援事業」採択。  
9.22 進研アド、広島商工会議所が賛助会員に加盟。  
12.25 事務局を広島県自治会館内に移転。
- 2009.4.1 日本赤十字広島看護大学加盟。  
南大阪地域大学コンソーシアムと単位互換制度に係る包括協定を締結。  
5.1 「広島県大学コンソーシアム支援事業」補助金受託。

## 加盟会員数

27校(18大学 1大学校 1高専 7短期大学)3団体 計30  
加盟校 27校 大学生 約53,600人  
加盟教育団体 3団体 高校生 約32,000人 賛助会員 10法人



## 教育ネットワーク中国

# 2009

〒730-0011  
広島市中区基町 10-3  
TEL 082-209-8044  
FAX 082-209-8045  
E-mail office@enica.jp  
URL http://www.enica.jp/

## 加盟会員

岩国短期大学  
エリザベト音楽大学  
海上保安大学校  
近畿大学工学部  
呉工業高等専門学校  
県立広島大学  
山陽女子短期大学  
島根県立大学  
鈴峯女子短期大学  
日本赤十字広島看護大学  
ノートルダム清心女子大学  
比治山大学  
比治山大学短期大学部  
広島経済大学  
広島工業大学

広島国際学院大学  
広島国際学院大学自動車短期大学部  
広島国際大学  
広島修道大学  
広島女学院大学  
広島市立大学  
広島大学  
広島文化学園大学  
広島文化学園短期大学  
広島文教女子大学  
安田女子大学  
安田女子短期大学  
広島市教育委員会  
呉市教育委員会  
広島県私立中学・高等学校協会

### (賛助会員)

広島商工会議所/中国新聞社/広島銀行/広島信用金庫/広島電鉄  
モルテン/紀伊國屋書店(中四国営業部)/大学生協中国・四国事業連合  
凸版印刷(中四国事業部)/進研アド(西日本本部 中・四国支社)

## 役員・会計監査・運営委員

代表幹事 市川太一(広島修道大学教授)  
副代表幹事 赤岡 功(県立広島大学学長)  
浅田尚紀(広島市立大学学長)  
浅原利正(広島大学学長)  
今田 寛(広島女学院大学学長)  
川本明人(広島修道大学学長)  
高橋 超(比治山大学・比治山大学短期大学部学長)  
武田哲司(武田学園理事長)  
濱本康男(広島市教育長)  
前川功一(広島経済大学学長)  
茂里一紘(広島工業大学学長)  
森永規彦(広島国際大学学長)  
吉野昌昭(安田女子大学・安田女子短期大学学長)  
李 聖一(広島県私立中学・高等学校長協会会長)

会計監査 高木孝子(ノートルダム清心女子大学学長)  
中村英昭(エリザベト音楽大学学長)  
長谷川晃(呉市教育委員会教育長)

運営委員 市川太一(代表幹事)  
岡本貞雄(広島経済大学)  
落合 功(広島修道大学)  
川野祐二(エリザベト音楽大学)  
後藤 寛(広島国際大学)  
高橋 超(比治山大学)  
中田美喜子(広島女学院大学)  
藤井 保(県立広島大学)  
福田由美子(広島工業大学)  
穂垣由恵(広島文教女子大学)  
柳瀬陽介(広島大学)  
上原浩二(事務局長)

(50音順)

## 大学との連携

自大学に開講されていない科目や学びたい他大学教員の科目を受講することを目的としている。

単位互換協定を締結した大学の学生は、所属大学の許可を得て出願し、他の大学において取得した単位は学生の所属する大学の単位として認定される。

4月上旬、所属大学の指定する期間に所属大学の窓口で出願し、選考結果は所属大学を通じて出願者に通知される。

単位互換科目一覧やシラバスはホームページで見ることができ、手続きの方法や学事日程、講義時間等もホームページで公開している。

大学院についても学部とほぼ同様の手続きで実施している。

## 学部の単位互換

### (1) 経緯

1998年11月27日、単位互換包括協定を結び、10大学9短期大学が参加して、1999年4月から学部単位互換を始める。

2000年度からマツダ財団より寄付講座「ボランティア活動」の提供。

2004年度から広島県教委より寄付講座「ボランティア参画論」の提供。

2005年度から教職課程科目の提供を始める。

2009年度現在、16大学・5短大・1高専が参加している。

### (2) 特色ある科目

\* 広島に関する科目

近畿大学工学部「東広島学」

県立広島大学「地域の理解」

広島経済大学「広島を学ぶ」28人「広島地域ものづくり事情」「中・四国地域経済・金融事情」「中・四国地域特別講義」

広島工業大学「瀬戸内学」

広島市立大学「ひろしま論」「平和と人権A」

\* 遠隔授業科目

広島女学院大学「CPプレゼンテーション」

\* 教職課程科目

エリザベト音楽大学「教育原理」

\* 寄附講座

比治山大学「現代マスコミ論」19人

広島文教女子大学「国際協力論(ボランティア活動)」19人

\* 広域型単位互換科目

南大阪地域大学コンソーシアム/羽衣国際大学「キャリアと社会」

### (3) 履修者数

	1999年度	2009年度
延べ履修者数	213	303人
実質履修者数	164	159人

延べ履修者数は初年度の1.4倍、実質履修者数は1倍になっている。

### (4) 提供科目数

	1999年度	2009年度
提供科目	86	225

## 大学院の単位互換

### (1) 経緯

2002年11月21日、大学院単位互換制度意見交換会を開き、単位互換の実施方法について協議する。

2003年4月1日から大学院単位互換事業を9大学14研究科30専攻が参加して開始する。提供科目数は140科目。

2006年度4月1日から大学院生が学部の提供科目を履修できることとする。

2008年度提供科目数は70科目。

### (2) 履修者数と派遣大学

2003年度 4人(広島工業大学大学院から近畿大学大学院へ1人、  
広島市立大学大学院から比治山大学大学院へ1人、  
広島工業大学大学院から広島女学院大学大学院へ2人)

2004年度 2人(広島修道大学大学院から広島工業大学大学院へ2人)

2005年度 1人(広島市立大学大学院から比治山大学大学院へ1人)

2006年度 2人(広島修道大学大学院から広島市立大学へ2人)

2007年度 3人(広島修道大学大学院から広島市立大学へ3人)

2008年度 1人(広島修道大学大学院から広島市立大学へ1人)

2009年度 0人

### (3) 参加研究科専攻

エリザベト音楽大学大学院(音楽研究科全専攻共通)

近畿大学大学院(システム工学研究科システム工学)

県立広島大学大学院(総合学術研究科人間文化学・経営情報学・生命科学・システム科学・保健福祉学)

比治山大学大学院(現代文化研究科現代文化)

広島工業大学大学院(工学系機械システム工学、建設工学、情報システム科学、環境学)

広島国際学院大学大学院(工学研究科電気電子・物質)

広島修道大学大学院(商学研究科商学・経営学、経済科学研究科現代経済システム・経済情報、人文科学研究科心理学・社会学・教育学・英文学、法学研究科法律学・国際政治学)

広島女学院大学大学院(言語文化研究科日本語文化・英米言語文化、人間生活学研究科生活文化学・生活科学)

広島市立大学大学院(国際学研究科国際学)

広島文化学園大学大学院(社会情報研究科社会情報)

島根県立大学(北東アジア開発研究科北東アジア地域開発政策)

## 高校との連携

高大連携は、大学の授業科目の高校生への公開を通じて、高校生が大学の高度な教育・研究に触れ、高校教育と大学教育の円滑な接続に資することを目的としている。

提供科目は公開授業(大学の正規の科目)と公開講座(高校生のための科目)から構成されている。

3月中旬に教育委員会や私学団体を通じて出願受付を行うが、1月下旬からホームページでも科目名や講義の内容を公開し、4月中旬に履修許可の通知をしている。

### (1) 経緯

2002年3月に広島県下152高校が参加して高大連携協定を締結。

2002年4月から広島県立、広島市立、呉市立、福山市立、広島県私立各高校が参加して開始。

2003年度から広島大学付属高校が参加して153校となる。

2005年度から岩国地区の高校が参加して157校となる。二次募集の開始。高大連携委員会の設置、高大連携研究交流会の開催、三原尾道地区で高大連携公開講座を開講。

2006年7月三次地区で中大連携公開講座を開講。

2007年度から12大学・短大で高校生の科目等履修制度の開始。

2007年7月備北地区3高校で中大連携公開講座を開講。

2008年7月備北地区3高校で中大連携公開講座を開講。

2009年7月備北地区4高校で中大連携公開講座を開講。

### (2) 主な公開授業科目

エリザベト音楽大学「合奏 -b(吹奏楽)」

近畿大学工学部「生物化学基礎実験」

県立広島大学「哲学」

山陽女子短期大学「環境と健康」

鈴峯女子短期大学「小児保健」

広島国際学院大学「現代社会学部公開講義「おもしろ社会ウォッチング」

広島国際大学「ヒトと生物と地球環境問題」

広島修道大学「日本の政治」

広島大学「海と大地の恵みのサイエンス」 など

### (3) 主な公開講座科目・受講者数

海上保安大学校「海上における捜索救助について」3人

県立広島大学「人間文化学への招待」53人「老年学の最前線に触れよう!!」40人

山陽女子短期大学「ヒトのからだのしくみ」5人

鈴峯女子短期大学「おいしいケーキ類を作ろう」54人

比治山大学短期大学部「美術実技講座A デッサン・イラスト」29人

広島経済大学「ブランドの謎を解く(広告戦略)」29人

広島工業大学「高校生のためのCG入門」14人

広島国際学院大学「ゲームシステム概論」13人

広島修道大学「もっと知りたい世界と日本の政治」62人

広島女学院大学「日本語と英語の比較」8人

広島大学「先端医療は今 広島から世界へ2009」85人

広島文化学園大学「高校生のための看護学入門」12人

広島文化学園短期大学「幼児教育と保育のしくみ」26人

安田女子大学「高校生のための心理学セミナー」37人  
安田女子短期大学「高校生のためのマナー講座」14人 など

#### (4) 公開授業科目数と公開講座科目数

参加大学数と参加高校数

	参加大学	参加高校	受講者数
2002年度	18大学	44校	310人
2003年度	22大学	40校	363人
2004年度	20大学	47校	471人
2005年度	24大学	63校	922人
2006年度	24大学	77校 (内中学校11校)	1740人 (内中学生99人)
2007年度	24大学	75校 (内中学校8校)	2802人 (内中学生50人)
2008年度	22大学	73校 (内中学校8校)	2915人 (内中学生29人)
2009年度	22大学	61校 (内中学校4校)	2707人 (内中学生20人)

受講科目と受講者数

	公開授業科目数	公開講座科目数	総計
2002年度	92(157人)	24(153人)	116科目(310人)
2003年度	121(173人)	24(190人)	145科目(363人)
2004年度	105(173人)	29(298人)	134科目(471人)
2005年度	122(220人)	38(566人)	160科目(786人)
	高大連携公開講座(三原尾道地区)	9科目	(136人)
2006年度	105(211人)	53(1248人)	158科目(1459人)
	中高大連携公開講座(三次地区)	15科目	(281人)
2007年度	120(201人)	78(1299人)	198科目(1500人)
	中高大連携公開講座(備北地区)	56科目	(1302人)
2008年度	79(221人)	85(1172人)	164科目(1393人)
	中高大連携公開講座(備北地区)	58科目	(1522人)
2009年度	71(85人)	80(1070人)	151科目(1155人)
	中高大連携公開講座(備北地区)	63科目	(1552人)
	公開講座A(備北地区)	24科目	(424人)
		( )内は受講生徒数	

#### (5) 受講した生徒の高校

10人以上の受講生を送った高校・28校

安西183人 西条農業144人 安芸103人 賀茂68人 庄原実業63人  
ノートルダム清心55人 呉宮原42人 広島県瀬戸内35人  
広島皆実28人 祇園北27人 総合技術24人 三原東20人  
武田18人 広島観音17人 沼田16人 竹原15人 大竹14人  
広島女学院14人 忠海13人 呉商業13人 鈴峯女子13人  
広島文教女子大学付属13人 広島国泰寺12人 熊野12人  
銀河学院12人 高陽11人 広島国際学院11人 比治山女子10人

1人から9人までの受講生を送った高校・31校

佐伯 三原 庄原格致 豊田 呉港 吉田 呉三津田 三次 呉昭和  
因島 広大付属 海田 広島工業 広島 基町 安田女子 呉 可部

高陽東 安芸南 安佐北 広島なぎさ 如水館 黒瀬 江田島 市商  
廿日市西 広島商業 安芸府中 大崎海星 広陵

中学校・4校

吉舎 吉田 十日市 八次

#### (6) 高校生の科目等履修制度

科目提供の大学

エリザベト音楽大学 近畿大学工学部 山陽女子短期大学  
鈴峰女子短期大学 広島国際学院大学 安田女子大学 広島文化学園大学

参加高校

吉田 賀茂 安芸 安田女子(10人)

#### (7) 遠隔授業

参加大学(10大学)

エリザベト音楽大学 広島経済大学 広島工業大学 広島国際学院大学  
広島国際大学 広島修道大学 広島修道大学 広島文化短期大学  
広島文教女子大学 安田女子大学

参加高校(4高校)

三次 庄原格致 日彰館 向原

2009年度前期講座(受講生人数)

広島経済大学「経済を見る目を磨く」(13人)  
広島女学院大学「世界遺産入門」「メールの常識・非常識」「しかくって  
まるいもの 多元的思考のすすめ」(10人)  
広島国際大学「福祉の世界へようこそ!」(13人)  
広島修道大学「世界や日本と、「自分」をつなぐ国際政治学」(11人)

#### (8) 公開講座A「大学入門」

参加大学

エリザベト音楽大学 県立広島大学 比治山大学・比治山大学短期大学部  
広島経済大学 広島工業大学 広島国際学院大学 広島国際大学  
広島修道大学 広島女学院大学 広島大学 広島文化学園短期大学  
広島文教女子大学 安田女子大学・安田女子短期大学

参加高校

三次 日彰館 庄原格致 庄原実業 吉田

#### (9) キャリア講座

2009年度

「地域での仕事づくりワークショップ1」7月11日(土)  
場所:三次高校 開催:広島経済大学 参加:22人  
「地域での仕事づくりワークショップ2」2月予定  
開催:広島経済大学

「地域で生きる若者のためのキャリア講座」11月7日(土)  
場所:庄原実業高校 開催:広島経済大学

#### (10) 高大連携研究会の開催

2004年度までは高校と大学の連携を促進するために、加盟校、各教育

委員会、各高等学校の担当者による「高大連携連絡会」、2005年度以降  
は高大連携研究会を毎年開催している。

2008年度高大連携研究会

【報告】

高大連携事業の進捗状況について

教育ネットワーク中国高大連携委員会委員長 岡本 貞雄  
中高大連携公開講座を実施して一評価できる点と今後の課題  
広島県立向原高等学校 福澤 達也  
今後の課題について  
広島県立三次高等学校 山根 伸浩  
広島県立庄原実業高等学校 渡邊 智徳  
戦略的連携支援事業の概要について  
教育ネットワーク中国 代表幹事 市川 太一

#### (11) 高大連携アンケートの実施

2002年以降、高大連携事業に参加した高校生、高校の担当教員および  
大学教員を対象にしてアンケート調査を実施し、改善の参考にしている。

### 生涯学習

#### (1) 経緯

1999年度から共同開催講座と連携公開講座を広島県立生涯学習センター  
において開催している。  
2001年度から広島県教育委員会と「ばれっとカレッジ」を広島県立生涯  
学習センターにおいて開催。  
2002年度から広島市教育委員会と「シティカレッジ」を広島市まちづく  
り市民交流プラザで開催。  
2003年度から講座情報をホームページで公開している。  
2005年度から公開講座「これからの教師像」を開講。  
2009年度から「ばれっとカレッジ」会場を広島県立図書館会議室に変更。  
2009年度より「ばれっとカレッジ」「シティカレッジ」あらたに「enica  
カレッジ」を加え、総称を「ひろしまカレッジ」とし、ICカード受  
講証を発行。  
ひろしまカレッジ交流会の開催。

#### (2) 生涯学習事業

共同開催講座(広島県教育委員会と共催)1999~2006

2004年度登録者数・延べ受講者数

講座区分					計
登録者数	260	82	488	11	841
延べ受講者数	1,577	453	1,513	10	3,553

共同開催講座3(20) ばれっとカレッジ3(21)  
シティカレッジ11(59) 新聞の読み方講座1(1) 計18(101)

## 2008 年度登録者数・延べ受講者数

講座区分				計
登録者数	210	995	34	1239
延べ受講者数	630	3895	64	4589

ぱれっとカレッジ 2 (13) シティカレッジ 18 (95)  
これからの教師像 1 (1) 計 21 (109)  
講座名の後の数字は講座数、( )内はコマ数を表す。

## 2009 年度の講座

<ぱれっとカレッジ(広島県教育委員会と連携)>

会場：広島県立図書館会議室

薬学と現代社会との接点(安田女子大学)6/27～8/1 5回  
グローバル化の進展と日本社会のゆくえ(広島文化学園大学)5/30～6/27 5回  
環境に優しい暮らし方講座(仮称)(教育ネットワーク中国)未定 5回

<シティカレッジ(広島市、(財)ひとまちネットワーク事務局と連携)>

会場：広島市まちづくり市民交流プラザ

オルガン音楽のひとつ - オルガン入門 - (エリザベト音楽大学)5/19～6/16 5回  
世界遺産入門(広島学院大学)5/20～6/24 5回  
国際環境協力学に向けて(広島大学)5/22～7/3 6回  
スーパー高齢者学(広島国際大学)5/30～6/27 5回  
歴史上の人物の手紙から学ぶ(安田女子大学)5/30～7/4 5回  
老いと看護のコラボレーション(広島文化学園大学)6/27～8/8 6回  
食と健康・安全(鈴峯女子短期大学)7/11～8/29 5回  
現代の「貧困」と社会的弱者 高齢者・障害者・若者・外国人・・・の置かれている状態と課題(広島国際学院大学)9/12～10/3 5回  
原典で読む『百人一首』(広島文教女子大学)9/15～10/20 5回  
文化のグローバル化を捕捉する - 社会学・心理学の視点から - (広島修道大学)10/1～10/29 5回  
異文化を知る英会話(近畿大学工学部)10/2～10/30 5回  
もっと深く、もっと広く知るうなぎ島の歴史と文化(広島大学)10/3～10/17 6回  
人間関係力とコミュニケーション(広島経済大学)10/27～12/1 5回  
未来へ歴史・文化を伝える(広島市立大学)10/28～11/25 5回  
食と健康のサイエンス(県立広島大学)11/5～12/10 5回  
広島市における都市の高温化とその緩和対策(広島工業大学)11/6～12/4 5回  
「瀬戸内と中国山地の歴史と文化」(比治山大学)11/14～12/19 6回

<これからの教師像>

会場：広島国際大学(広島キャンパス) 12/12、12/13

<ひろしまカレッジフォーラム>

「ひろしまカレッジ発足記念フォーラム～世界遺産を結ぶ南北の道～」開催  
ひろしまカレッジフォーラム「技術がつなぐ大学と地域～ICカードを利用した連携の現状と今後～」開催

## 地域社会との連携

## 1999 年度

第 11 回全国生涯学習フェスティバル生涯学習見本市会場において「カレッジ・フェア」を開催。

## 2000 年度

マツダ財団寄付講座「人間科学特論演習 03(ボランティア活動)」(広島修道大学)を開始。その後、広島国際学院大学、比治山大学を経て、現在はエリザベト音楽大学が担当。

## 2002 年度

広島県教育委員会から「青年地域貢献活動促進事業」を委託(～2003 年度)。東広島市教育委員会「社会人のための大学活用フェア」を後援。

## 2003 年度

日本学術会議地域振興/中国・四国地区フォーラム「都市と農山漁村のパートナーシップ」を共催。

広島市まちづくり市民交流プラザ、ラーニングネットひろしま主催「社会人のための大学活用フェア」を後援。

## 2004 年度

第 1 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム「高大連携」分科会担当(～2005 年度)。

広島県教育委員会寄付講座「ボランティア参画論」(広島経済大学単位互換提供科目)を開始。

全国産業教育フェア広島大会において高大連携イベント協力。

広島県教育委員会から「青年地域貢献活動促進事業調査」依頼開始。

## 2005 年度

次世代育成事業委託(広島ガス)を開始。

## 2006 年度

第 3 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム「小中高大連携」分科会担当。

青年地域貢献活動「やる気じゃネット！青春じゃけん」実践交流会を広島県教育委員会と共催。

## 2007 年度

第 4 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムを広島で開催。

## 2008 年度

備北地区保護者対象講座を新規に開講。

第 5 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム「コンソーシアムの組織運営」分科会担当。

## 2009 年度

第 6 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム「コンソーシアムの組織運営」分科会担当。

## 教職員研修会(研修委員会)

## 2006 年度

大学行政管理学会西日本支部中国・四国地区研究会との共催

「中小大学論 - 中小規模大学の人事政策」6/17 (71 人参加)

「ユニバーサル段階の大学キャリア教育 - 新設大学のキャリア支援の取り組み」7/15 (63 人)

「『個』としての大学職員 - 様々な大学職員論を読み解く」8/5 (46 人)

「人間力開発を目指して～興動館教育プログラムの取り組み」10/7 (50 人)

「教育現場のメンタルヘルス」11/25 (40 人)

「大学マネジメントと学習意欲」12/2 (30 人)

「IC カード学生証の提案と導入事例セミナー」2/7 (85 人)

HiBiS IC カード利用部会との共催

## 2007 年度

「認証評価の取組」(事例発表と意見交換)6/30 (48 人参加)

「ワークショップ」(入学・学生募集)(学生生活支援)(教務)(図書館)

(情報システム)(就職・キャリア)(地域連携)(人事・総務・財務)など 8/4 (37 人)  
「学生証 IC カード化」8/24 HiBiS IC カード利用部会との共催 (64 人)  
「第 4 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム」9/15・16(52 人)  
「オープンキャンパスの評価改善手法の構築」「学生支援 GP」12/1 (74 人)

## 2008 年度

「国際交流 広島修道大学の国際交流の実情及び今後の展望」さらなる国際的な交流の促進に向けて」5/31 (38 人参加)

大学行政管理学会西日本支部中国・四国地区研究会との共催  
「FD 研修会 これからの大学教員・職員の在り方 FD・SD の現状と課題」7/5 (71 人参加)

地域連携 戦略的連携事業

「高大連携による過疎地域の人材育成及び IC カード受講証を活用したひろしまカレッジ」9/27 (47 人参加)

実務講座 大学人としての基礎知識

「大学職員の基礎知識」と「大学改革を考える」11/29 (69 人参加)

## 2009 年度

若手職員研修会

「大学の歴史・学校法人・大学設置基準ほか」「学校法人会計・補助金制度ほか」「これからの大学ほか」など 5/23 (59 人参加)

【大学行政管理学会との共催】

「中長期的な大学教育の在り方について」7/4 (112 人参加)  
F D 研修会

「備北地区の高校と 4 大学の連携による遠隔授業の試み」9/26  
【大学行政管理学会との共催】

「大学事務職員の能力発揮と職場環境」

「SD に関する提言案(中間報告)」10/31

F D 研修会

「3 大学からの FD 研修会取り組み事例発表」11/21

## 教員免許状更新講習

2009 年度 日時：12/26、12/27 会場：エリザベト音楽大学  
1 次募集：31 人申込 2 次募集：13 人申込

## 設置委員会(2009 年度)

1. 運営委員会 2. 教学委員会 3. 高大連携委員会  
4. 遠隔授業検討委員会 5. 共同事務開発委員会 6. 研修委員会  
7. IC カード学生証委員会 8. 教員免許状更新講習実施委員会

## 会費・参加費

会費 1 会員 15 万円(同一学校法人設置短期大学は半額)  
高等専門学校は 7 万 5 千円  
教育団体会費は 10 万円、5 万円、3 万円  
賛助会費は 1 口 3 万円

単位互換制度参加費 学生数 1 人につき 50 円  
大学院単位互換事業 1 大学につき 4 万円  
高大連携事業 1 高校につき 3 千円(正会員は免除)

[ 2009.9.1 作成 ]